

- ・ 2日間を通してしっかりと「対面だからこそ」を感じられた時間だったと思います。

これまでは聞けなかった話、話せなかった話がたくさんできたこともそうだし、皆さんの持ち物や普段の生活習慣、外食するときの行動、夜寝るまで、朝起きてからの行動などそれぞれの個性がよくわかりました。

えみさんがどこかの感想に書いてくださっていましたが、私自身は非常に自由にのびのびと過ごせた感覚がたしかにありました。

仕事だったり家庭だったり、普段はどこかしらで求められている役割を意識して行動しているのが、大阪では完全に一人の人間として行動できたことや何よりもチームItoという意識して作り上げた人間関係の中だったからだと思います。

最後の承認式で話題にあがった「チームと個人の両輪」についてですが、私自身は「チーム」を意識することが自分の行動を後押しすることがあるとあさみさんに言っていたき、まさにその通りだと感じています。

去年の成果班での活動でも自分が踏み込んだコミュニケーションを取れたときは自分以外の誰かのためというのが根底にあった時だと思います。今回の合宿に向けての取り組みも「チームIto」の存在があったからこそ踏み込みができました。

一方で個人を意識した行動については合宿前はピンときていませんでしたが、合宿後に変化を感じ始めたところです。

最近やってみたのはコーチング練習会ベーシックをえみさんに勧めたことです。えみさんが「コーチングスキル」を向上させたいと振り返りに書かれていたので「それならベーシックが一番近道では？」と単純に感じました。

ただこれまでの私は「押し付けになるから」と飲み込んでいたのですが、合宿を経たからこそ「押し付け」をやってみようと思えました。自分が単純に良いと思っていること、学びになると思っていることをえみさんにも伝えたいというすごくシンプルな気持ちですが、これは今までの自分にはできなかったことです。

これまでだったら「コーチング練習会ベーシック」という講座全体を考えても受講者が増えた方がいいかもしれないなどとまわりくどく考えていたかもしれません。

今回は単純に自分が良いと思っていることを他人に勧めるのに建前なんかいらななと感じられました。

もくもく会についても最近では自分のスケジュールで予定を立てられるようになってきました。

他の人が参加するかどうかは以前ほど気にしていませんし、例え一人でも自分が予定通りの時間に机に向かうモチベーションとして使えれば良いなと思っています。

「チーム」や「仲間」の存在が私の行動の背中を押してくれるのはこれからも同じだと思いますが、私自身は今後それを経てより「個人」や「自分」を中心に据えて物事を決定していくことを大事にしたいと今は思っています。

それが結果としてチームや仲間に良い刺激になればそれは副産物として嬉しいことだけど目的にはしたくないと感じました。

陽子さん、えみさん、あさみさん、改めて合宿を一緒に過ごして下さってありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

(A.K 30代女性 富山県)